

はじめに

第1章

あなたは自分の会社を
どのような会社にしたいのか

第1節

目的を決めると会社のビジョンが見える—— 24

1. 人間の5つの欲求—— 26
2. 「思い」と「願望」の違いは？—— 31
3. 小成功と大成功の話—— 33
4. この先10年で、会社をどう創り変えていくか？—— 36

第2節

将来からの逆算式戦略思考をしよう—— 38

1. 見えないものを可視化すること—— 38
2. 目的からの逆算をしているか？—— 39
3. 思考は逆算的に、行動は加算的に—— 43
4. 長期ビジョンを描こう—— 47

第3節

過去加算式経営計画と未来逆算式経営計画—— 54

1. 過去加算式経営計画—— 54
2. 未来逆算式経営計画—— 55

第4節

規模と内容の問題

1. 適正な会社規模と内容について — 60
2. 富士山型経営とアルプス型経営 — 61
3. 着地点を決定し覚悟する — 62

60

第2章

第1節

社長の「器」以上に
会社は大きくも良くもならない
社長の器とは何か？

1. 社長の器にはレベルがある — 67
2. 器の中身は何か？ — 68

66

第2節

よい会社とよい経営者

1. よい会社とは？ — 70
2. よい経営者とは？ — 70
3. 経営者は船団の船長である — 70
4. 経営者の仕事とは方向指示機付き裏方業である — 71
5. 社長の仕事と経営者の仕事について — 73
6. 社長室でやるべきこと — 74

70

第3節

出身別の社長のクセ

1. 営業畑出身の社長——76
2. 技術、職人畑出身の社長——77
3. 経理、事務畑出身の社長——77
4. お坊ちやま出身の社長——78

76

第4節

経営能力の3つのポイント

1. ポイント1 営業能力の問題点——79
2. ポイント2 人材活用能力の問題点——79
3. ポイント3 「金に対する考え方」の問題点——80
4. 3つのポイントの共通点——80

79

第5節

真の経営者になるためには

1. 事業の管理——81
2. 仕事の創造——82
3. 麻益株式会社の例——83
4. 経営者の8つの条件——84
5. 経営者が考えるべきこと——86
6. 社長の最大の仕事は、人を育てることである——90

81

第3章 社長の性格について

第1節

性格について

1. 性格と言動の相関関係 — 96
2. ささまざまな社長の性格 — 97
3. 過去と他人は変えられない。変えられるのは自分と未来だけ — 98
4. 性格とは「意欲×人柄」である — 100
5. あなたは攀念智に囚われていないか？ — 101
6. 2つの「うらみ」：怨みと恨み — 103

第2節

ジヨハリの窓

1. ジヨハリの窓を描いてみよう — 104
2. 無意識の意識化 — 106
3. 過去の攀念智からの脱皮 — 107
4. 裸になれるか？ — 108
5. 吐露する、ということ — 109

第3節

意欲の弱いタイプについて

1. 意欲の弱いタイプの特色 — 111
2. ドジ×グズ×お人好しの優柔不断な社長 — 114

第4節

意欲の強い人の特色と性格の直し方

138

1. 意欲の強い人の性格について ————— 138
2. 金に関する考え方を変えよう ————— 142
3. 人に関するの考え方を変えよう ————— 145
4. 性格を直すには? ————— 146
5. 勉強嫌いを超多忙から思考能力を失った社長 ————— 153
6. 科学性を勉強して経営能力を高めよう ————— 156
7. 派手な人は地味に行動せよ ————— 158
8. 「行動」を「実行」に移すこと ————— 158
9. 人間性を高めよう ————— 159
10. 大才は袖すりあつた縁をも活かす ————— 162
11. 成り上がりのレベルで止まってはいけない ————— 163
12. ガラス一枚のお話 ————— 164

第5節

夫婦の問題

165

1. 社長夫人の意欲と人柄 ————— 165
2. 夫人の引退時期について ————— 166

第4章

「学ぶ」とは何か

3. あなたは家族を大切にしているか? — 167

第1節

商売は行動学である

1. 商売の基本は行動することにある — 169

169

第2節

頭と身体の両方で学ぶこと

1. 時代の流れを読むこと — 173
2. 女性上位の時代を考える — 173
3. 人口の再配置を考えると — 175
4. 成り行き任せでは衰える — 176
5. 自社が永遠に繁栄するために — 177

172

第3節

時代は変化している

1. あなたは「茹でガエル」になっていないか? — 178
2. 危機感のある経営者、ない経営者 — 180
3. 成長には努力と執念と時間がかかる — 181

178

第4節

事業は科学である

184

第5節

目を外に向けず、己の内に向けよ

193

1. 賢者は歴史に学ぶ——184
2. 原理原則を学ぶ——185
3. 知識・見識・胆識——186
4. 事業は科学である——187
5. プラス発想で学べ——188

第6節

経営者に必要なものとは？

198

1. 自己内省——193
2. 「答え」を探すな、「問い」を持って——194
3. 真の問題は何か？——195
4. よいことは徹底してすべてを真似る——197

第7節

師匠と弟子の理想的な関係

203

1. 五失の心得——203
2. 師匠や仲間は身近なところにいる——204

第5章 経営指針書

第1節

経営指針書を作る意義と必要性

206

1. 指針書を作る意義 — 206
2. 東海自然歩道を歩いて、経営指針の必要性を改めて知る — 207
3. 社長が良くなれば、会社は良くなる — 209

第2節

経営指針書をつくる決意

211

第3節

経営指針書作成の目的と狙い

213

1. 指針書作成の目的 — 213
2. 指針書作成の狙い — 214

第4節

経営指針書作成の手順

215

1. 決意すること — 215
2. 経営指針書作成の勉強会に入り、実行する — 215
3. 指針書作成の形態を決定する — 215
4. 策定の日程計画を決める — 216

第5節

作成するための実際のプロセス

217

第6節

経営指針書を社内に浸透させる

219

1. 労使の信頼回復 ————— 219
2. 現場を一番知らないのはトップ ————— 220
3. ガス抜き ————— 220
4. 「理解」と「納得」 ————— 222
5. 指針書の発表 ————— 224

第7節

経営指針書を作成して会社はどう変わったか？

225

第6章

「正々の旗」を掲げて経営せよ

第1節

正々の旗を掲げる

236

1. 「正々の旗」とは経営理念である ————— 236
2. 何のために会社経営をするのか？ ————— 238
3. 経営者の経営に対する考え方 ————— 239
4. 曼陀羅の知恵 ————— 242

第2節

なぜ経営理念が必要か？

243

1. 21世紀を迎えた経営はどうあるべきか？ ————— 243
2. 経営者は個性、思想を持たねばならない ————— 245

第3節

理念のチェックポイント

248

第4節

経営理念事例集

250

1. 麻益株式会社 ————— 250
2. 各社の経営理念 ————— 252

第7章

事業継承

第1節

継承するための思考

266

1. 会社が「創業者一代の30年」で終わらないために ————— 267

第2節

円滑な継承のために

270

1. 経営者としての寿命は何年か？ ————— 270
2. 会社経営は駅伝競走である ————— 270
3. 継いでいくために必要なこと ————— 271

第3節

先代に考えてもらいたいこと

275

1. 「渡す側」の問題点 — 275
2. 先代に共通する思考と行動 — 276
3. 先代がしてはいけないこと — 277
4. 後継者には遊ばせろ — 277
5. 後継者に願う — 278

第4節

後継者に伝えたいこと…自分を磨き、自分の器をつくること

279

1. 後継者の留意点 — 279
2. 社員の不安を解消せよ — 279
3. 社員から期待されるために — 280
4. 人間の器を大きくすること — 281
5. こんな人間に育ってほしい — 282
6. わが息子 — 283

第5節

麻益株式会社の後継者が継ぐべき信条

285

1. 経営理念に必要なものとは? — 287

2. 先代の語録 ————— 288

第6節

麻益株式会社の歴史と思想 ————— 294

1. 麻益株式会社の社史について ————— 294
2. 金に関する考え方 ————— 294
3. 物に関する考え方 ————— 296
4. 人に対する考え方 ————— 297
5. 経営者としての考え方 ————— 299

第8章

人生の勝利者に向けて

第1節

私は仕事の成功者より、人生の勝利者でありたい ————— 300

第2節

人生に対する3つの捉え方 ————— 302

第3節

「もう一人の自分」との対話 ————— 305

1. あなたは、自分の人生に悔いはないか? ————— 305
2. 「観」と「志」 ————— 307
3. 社長自身の資質を問う ————— 308

第4節

「組織」と「市場」と「人間」

310

1. 豊かな時代に生き甲斐のある人生を—— 311
2. 幸せについて—— 312
3. 「生き甲斐」とは何か?—— 315
4. 青春とは何か?—— 318
5. 人間性について—— 319

第5節

ギブ・ギブ・ギブ・アンド・ギブンの人生 321

1. あなたは「ギブ」を心がけているか?—— 321
2. 「テイク」したら「ギブ・ギブ・ギブ」を心がけよ—— 322
3. 「使命」とは何か?—— 324
4. 「役に立ちたい」という願望を持っているか?—— 326

第6節

来世のために現世を生きる 328

1. 人生における「理念」と「戦略」—— 328
2. 「因果応報」と「輪廻転生」—— 330

第7節

人間の器 332

1. 「人間の器」とは何か?—— 333
2. 「一廉の人間」になることから出発する—— 334
3. 人格、品性、人徳—— 334

第8節

愛について

340

4. 正負の幅の大きさが器の大きさになる——334
5. 仕事と遊びの振幅の大きさ——335
6. 器を変えることから——336
7. 意識的に自分の器を大きくできるか?——339

1. 愛を与える仏と、愛を奪う鬼——340
2. これから一生かけて努力すべきこと——342
3. 人のために尽くす心を持つ——345
4. 尊敬される人間になろう——345
5. 「モリー先生との火曜日」を読んで——346
6. 人間を超える偉大なもの——348
7. 徳を継ぐのは自分のため——352
8. より高い霊格を求めて——352

おわりに